iPhone・Android向け地震検知アプリ:Pocket Seismographの使い方

スマートフォンで地震を検知できるのか。Pocket Seismographが地震イベントをどう記録するか、検知できるマグニチュード、端末の設定方法を解説します。

著者: Lubor Šimůnek • 公開日: July 2, 2026 • 生産性

オンライン版: https://appstoryo.com/ja/blog/earthquake-detection-app-iphone-android



スマートフォンで本当に地震を検知できるのか

未来的に聞こえる問いですが、今日では現実に可能です。必要な地震検知アプリは、すでにあなたのポケットの中にあります。スマートフォンに内蔵された加速度センサーは、意味のある規模の地震による地面の揺れを記録できます。Pocket Seismographは、このハードウェアの能力を実用的な地震モニタリングツールに変える無料のiOSアプリです。

本ガイドでは、検知できるマグニチュードの目安、Pocket Seismographが地震イベントを記録する仕組み、そして自宅・職場・屋外で効果的に地震を把握するための端末の設定方法を解説します。

スマートフォンが検知できる地震の規模は

これは正直に答えるべき最も重要な問いです。あなたのスマートフォンは専門の地震計ではありません。民生用MEMS加速度センサーを備えた汎用機器です。とはいえ、地震をまったく検知できないわけではありません。実用的な目安は次のとおりです。

- マグニチュード2.0〜2.9: 震源が極端に近い場合（5km未満）を除き、スマートフォンではほぼ検知できません。地面の動きが小さすぎて、MEMSセンサーは背景ノイズを超えて記録できません。
- マグニチュード3.0〜3.9: 端末が震源から20〜50km以内にあり、安定した硬い面に置かれていれば検知できます。Pocket Seismographでは、体感と一致する明確な波形の乱れが見られることがあります。

- マグニチュード4.0〜4.9: 100km以内なら確実に検知できます。ほとんど揺れを感じない地震でも、Pocket SeismographはP波とS波の特徴的な到達パターンを含む明瞭な地震波形を通常表示します。
- マグニチュード5.0以上: 広い範囲で強く検知されます。M5以上の地震はアプリ上で紛れもない特徴的な波形を描き、振幅は背景ノイズを明らかに上回ります。

地震モニタリング向けのPocket Seismographの設定

Pocket Seismographを地震検知ツールとして最大限に活かすには、次の設置のコツを守ってください。

1. 端末を頑丈な面に置く

端末は地面、または地面に堅固につながった構造物と直接接している必要があります。最適なのはコンクリートの床、スラブに直接施工された無垢材の床、重い木製のテーブルやデスク、窓台や壁付けの棚です。柔らかい面、カーペット、振動を吸収するものは避けてください。

2. 端末の動きを最小限にする

端末を持ち上げる、近くを歩く、画面を操作するといった行為だけでも、小さな地震より大きな振動信号が発生します。本格的にモニタリングするなら、端末を置いたらそのままにしておきましょう。理想は、充電器につないだ端末を一晩コンクリートの床や頑丈なテーブルの上に平置きすることです。

3. 特徴的な波形を見分ける

実際の地震波形は、人為的な振動とは異なる特徴的なパターンを示します。まず小さな圧縮波であるP波が到達し、続いて大きなS波が主要な揺れを起こします。小さな地震でも10〜60秒にわたって揺れが続くのに対し、瞬間的な衝撃は鋭いスパイクが一度出るだけで終わります。

4. 公式情報と照合する

Pocket Seismographで通常とは異なる持続的な波形を見つけたら、USGS Earthquake Hazards Programや地域の地震観測網を確認してください。この照合により、記録されたものが本当に地震活動だったのかが分かり、公式のマグニチュードと震源位置のデータも得られます。

Pocket Seismographによる地震イベントの記録方法

振動の計測セッションはすべて正確なタイムスタンプ付きで記録されます。そのため、過去のセッションを見返して波形の乱れが同時刻に報告された地震と一致するかを確認したり、波形を時系列で比較して傾向を把握したり、あなた自身の場所における地震活動の記録を積み上げたりできます。

Pocket Seismographが役立つ実際の場面

地震かどうかをすぐ把握する

Pocket Seismographは緊急地震速報のような事前警報は出せませんが、地震活動をその場で確認するのに役立ちます。何かが揺れたと感じたものの地震なのか通り過ぎたトラックなのか分からないとき、タイムスタンプ付きの記録が持続的な地面の動きの有無をはっきり示してくれます。

余震の観測

大きな地震のあと、より小さな余震が数日から数週間続くことがあります。その多くは人間の知覚の限界以下ですが、スマートフォンの地震計なら検知できます。余震活動の期間中にPocket Seismographを

動かしておけば、あなたの場所で続く地震活動の個人的な記録が残ります。

地震活動が活発な地域で暮らす

カリフォルニア、日本、トルコ、ニュージーランド、チリなど地震活動が活発な地域に住んでいるなら、Pocket Seismographを定期的に動かすことで、公式の観測網を補う地域レベルの気づきが得られます。

今すぐPocket Seismographをダウンロード

地震の多い地域にお住まいの方も、身の回りの振動が気になるだけの方も、Pocket SeismographはiPhoneを実用的な地震計に変える無料・アカウント不要のツールです。App Storeから無料でダウンロードして、あなた自身の地震への気づきを積み重ねていきましょう。

本アプリは完全オフラインで動作し、インターネットもクラウドもアカウントも不要です。今すぐiOS版Pocket Seismographを入手。Pocket Seismographは現在iPhone専用で、Android版はまだありません。

引用形式: Lubor Šimůnek (2026). *iPhone・Android向け地震検知アプリ:Pocket Seismographの使い方*. AppStoryo, lapnito.cz s.r.o.. https://appstoryo.com/ja/blog/earthquake-detection-app-iphone-android
© 2026 lapnito.cz s.r.o.